

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3100165号
(U3100165)

(45) 発行日 平成16年4月30日(2004. 4. 30)

(24) 登録日 平成15年12月17日(2003. 12. 17)

(51) Int.Cl.⁷

G06F 1/16

F I

G06F 1/00 3 1 2 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2003-270893 (U2003-270893)
 (22) 出願日 平成15年8月29日(2003. 8. 29)
 (31) 優先権主張番号 092210734
 (32) 優先日 平成15年6月12日(2003. 6. 12)
 (33) 優先権主張国 台湾(TW)

(73) 実用新案権者 501456630
 強復工業有限公司
 台湾 桃園県八徳市和平路704巷11号
 (74) 代理人 100082304
 弁理士 竹本 松司
 (74) 代理人 100088351
 弁理士 杉山 秀雄
 (74) 代理人 100093425
 弁理士 湯田 浩一
 (74) 代理人 100102495
 弁理士 魚住 高博
 (74) 代理人 100112302
 弁理士 手島 直彦
 (72) 考案者 李世文
 台湾桃園縣八徳市和平路704巷11號

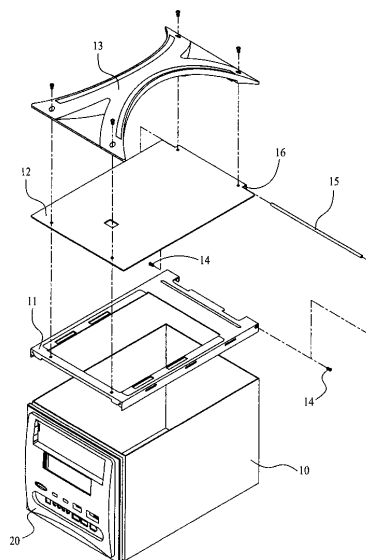
(54) 【考案の名称】 コンピュータ

(57) 【要約】

【課題】 周辺設備の取り付けや交換に便利なコンピュータの提供。

【解決手段】 コンピュータケースの上面にハンドル装置が設けられ、該上面が引き起こせる構造とされ、該上面の引き起し可能な設計により、コンピュータに周辺設備、例えばハードディスク、CDドライブ或いはインタフェースカードを取り付けたり交換する時、上面を引き起こして行なうことができ便利である。また上面の内側面にディスプレイの設備が設けられ、全体のコンピュータ装置を搬送するのに便利である。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

デスクトップ型コンピュータとされるコンピュータであり、
上面が開口とされ、内部にマザーボード、電源供給装置及びインタフェースナード等の必要設備を収容するケースと、

該ケースの正面に設けられ、押しボタン、指示ランプ及びソケットが設置されたパネルと、

該ケースの開口状の上面を完全に被覆し、後側端がヒンジ装置でケースに接続され、連接部分を回転中心として引き起こされることで、ケースの開口状の上面を露出させられる上面板と、

を具えたコンピュータ。

10

【請求項 2】

請求項 1 記載のコンピュータにおいて、上面板の外側面にハンドル装置が設けられたことを特徴とする、コンピュータ。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 記載のコンピュータにおいて、上面板の内側面に薄型ディスプレイが取り付けられたことを特徴とする、コンピュータ。

【請求項 4】

請求項 3 記載のコンピュータにおいて、ケースの上内縁に上シャーシが設けられ、その後端に一对の固定ピンで軸棒が固定され、上面板の後端に穿孔が設けられ、該軸棒の中段が上面板後端の穿孔に係止されてヒンジ装置が形成されたことを特徴とする、コンピュータ。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は一種のコンピュータに係り、特にコンピュータケースの上面を引き起こせる新規な構造を有し、特にベアボーン (bare bone) コンピュータに適合するコンピュータに関する。

【背景技術】

【0002】

コンピュータテクノロジーの進歩はめざましく、マザーボード上のプロセッサ、或いは周辺設備のハードディスク容量或いは C D ドライブの読み取り速度はいずれも急速に進歩している。異なるインタフェースカード接続のための拡充設備も多様である。ゆえに、現在 P C 内部の部品の交換は珍しくない。

30

【0003】

現在、デスクトップ型コンピュータに関しては、その主要な使用形式はコンピュータと、接続されたマウス、キーボード、ディスプレイ、及びプリンタ等を具えるものとされる。コンピュータケースは基本的に直方体の設計とされ、その内部にマザーボードと必要な部品が取り付けられ、正面はスイッチ、指示ランプ及びソケットを設置するパネルが設けられ、内部シャーシの外部にプレス加工されて U 形を呈する保護カバーが設けられ、全体のマザーボードがコンピュータケース内に封じられ、並びにネジで U 形の保護カバーがシャーシ外に固定されている。

40

【0004】

内部部品を交換する時は、面倒な動作が発生し、即ち、ネジを取り外して U 形の保護カバーを内部シャーシより引き離なければ、交換が行なえず、交換後、保護カバーを閉じてネジで固定しなければならない。このような構造は不便であるため、改善が求められている。

【0005】

このほか、現在、デスクトップ型コンピュータは小型化の傾向にあり、全体のコンピュータの移動に便利とされており、例えばベアボーン (bare bone) コンピュータは

50

使用者がコンピュータを手に掲げることができるため、ノートブック型コンピュータ以外の新たな選択の形式となっている。これにより、ディスプレイをケースに収容できるコンピュータがあれば、非常に便利である。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

上述の周知のデスクトップ型コンピュータの欠点を鑑み、本考案はそれを改良したコンピュータの設計を提供するものである。

【0007】

本考案はコンピュータケースの上面を引き起こせる構造とし、並びに上面にハンドルを設けて使用者が上面を引き起こすのに便利であり、また使用者が部品を取り付けたり交換するのに便利とすることを目的としている。 10

【0008】

本考案はまた、コンピュータケースの上面を引き起こせるようにし、該上面の内側面にディスプレイを取り付けて外接する必要を無くし、使用者の携帯に便利とすることを次の目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0009】

請求項1の考案は、デスクトップ型コンピュータとされるコンピュータであり、
上面が開口とされ、内部にマザーボード、電源供給装置及びインタフェースナード等の必要設備を収容するケースと、 20

該ケースの正面に設けられ、押しボタン、指示ランプ及びソケットが設置されたパネルと、

該ケースの開口状の上面を完全に被覆し、後側端がヒンジ装置でケースに接続され、連接部分を回転中心として引き起こされることで、ケースの開口状の上面を露出させられる上面板と、

を具えたコンピュータとしている。

請求項2の考案は、請求項1記載のコンピュータにおいて、上面板の外側面にハンドル装置が設けられたことを特徴とする、コンピュータとしている。

請求項3の考案は、請求項1又は請求項2記載のコンピュータにおいて、上面板の内側面に薄型ディスプレイが取り付けられたことを特徴とする、コンピュータとしている。 30

請求項4の考案は、請求項3記載のコンピュータにおいて、ケースの上内縁に上シャーシが設けられ、その後端に一对の固定ピンで軸棒が固定され、上面板の後端に穿孔が設けられ、該軸棒の中段が上面板後端の穿孔に係止されてヒンジ装置が形成されたことを特徴とする、コンピュータとしている。

【考案の効果】

【0010】

本考案はコンピュータケースの上面を引き起こせる構造とし、並びに上面にハンドルを設けて使用者が上面を引き起こすのに便利であり、また使用者が部品を取り付けたり交換するのに便利としている。 40

本考案はまた、コンピュータケースの上面を引き起こせるようにし、該上面の内側面にディスプレイを取り付けて外接する必要を無くし、使用者の携帯に便利としている。

【考案を実施するための最良の形態】

【0011】

図1から図3に示されるように、本考案のコンピュータの内部シャーシには必要なマザーボードと不停電電源装置等（図示せず）が設けられ、上面が貫通するケース10が内部設備を封じ、並びに正面にパネル20が設けられ、該パネル20は押しボタン、指示ランプ、及びソケットの取り付けに供される。

【0012】

該ケース10の上内縁に上シャーシ11が設けられ、その後端が一对の固定ピン14で 50

軸棒 15 を固定している。上面板 12 はケース 10 の貫通する上面を閉じるのに用いられ、その後端に穿孔 16 が設けられている。該軸棒 15 の中段は上面板 12 の後端の穿孔 16 に係止され、これにより上面板 12 が上面板 12 を回転中心としてケース 10 に対して引き起こし可能とされ、これによりケースの貫通する上面を露出させられる。これは図 3 中の矢印 G に示される動作である。

【0013】

上面板 12 の引き起こし動作を簡単とするため、上面板 12 の上面にハンドル装置 13 が設けられ、該ハンドル装置 13 は上面板 12 との間に使用者の手指を通すための空間を保留し、片手での操作に便利とされ、使用者はハンドル装置 13 を握持することで、簡単に上面板 12 を引き起こすことができる。

10

【0014】

当然、上述の構造は本考案の一つの実施例に過ぎない。上面板 12 は直接ヒンジ構造でケース 10 の上内縁に取り付けることも可能である。即ち、軸棒 15 が構成する連結構造も、ヒンジ構造の一つである。

【0015】

このほか、本考案は上面板 12 の内側面にディスプレイ、例えば薄型の液晶ディスプレイを取り付け可能である。この時、ヒンジ構造に角度固定の構造を増設し、これにより上面板 12 を引き起こしてある角度とした時に位置決めできるようにし、この構造は現在ノートブック型コンピュータに使用されているものが適用されうる。

【0016】

ディスプレイ取り付け後、全体のコンピュータの移動に便利で、並びに内部部品の交換が容易な長所を有する。

20

【0017】

総合すると、本考案の提供するコンピュータは、使用者がケースの上面板を引き起こせば内部部品の取り付け或いは交換が行なえて便利であり、その機能が高められている。ゆえに本考案は実用新案登録の新規性と進歩性の要件を具備している。

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図 1】本考案の実施例の分解図である。

【図 2】図 1 の組合せ後の斜視図である。

30

【図 3】本考案の動作図である。

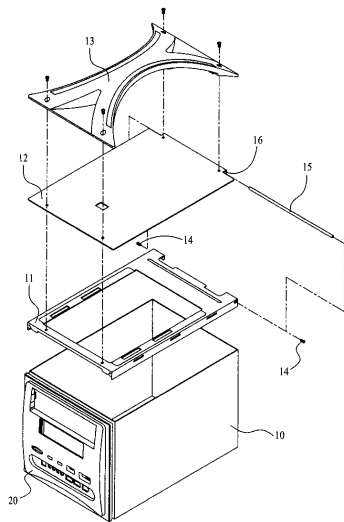
【符号の説明】

【0019】

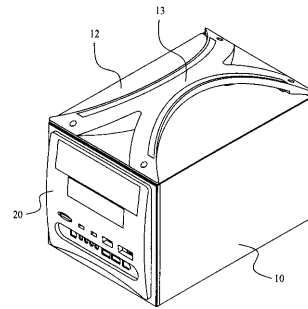
- 10 ケース
- 11 上シャーシ
- 12 上面板
- 13 ハンドル装置
- 14 固定ピン
- 15 軸棒
- 16 穿孔
- 20 パネル

40

【図 1】



【図 2】



【図 3】

